



和歌山大学紀州経済史文化史研究所 企画展

移民の仕事とくらし

アメリカ、カナダ、ブラジル、オーストラリア



関連イベント

<移動パネル展>
 世界をつなぐ和歌山県人会との交流
 2011.10.18 (火)～11.22 (火)
 和歌山大学附属図書館1F 展示コーナー

<シンポジウム>
 和歌山から世界への移民II
 ～過去から現在、そして未来への絆を紡ぐ～
 2011.10.29 (土)
 和歌山大学観光学部棟 T101 教室
 主催：和歌山大学観光学部シンポジウム実行委員会

2011
 10.18 (火)～11.22 (火)

土日祝および10.31(月)は閉館 <10.29(土)は開館>

10:30～16:00

和歌山大学紀州経済史文化史研究所
 (和歌山市栄谷930・附属図書館3F)

入場無料

主催：和歌山大学紀州経済史文化史研究所
 共催：太地町公民館歴史資料室／アメリカ村カナダ移民資料館
 和歌山県中南米交流協会／南カリフォルニア和歌山県人会
 和歌山大学観光学部
 後援：日本移民学会／和歌山県／和歌山市／(財)和歌山県国際交流協会
 協力：和歌山市民図書館

海を渡った移民の歴史の始まりは 100 年以上も前にさかのぼる。ハワイではすでに五世や六世も誕生する中、移民の足跡を後世に伝えることの重要性が高まるとともに、その難しさが課題となっている。この現状を踏まえ、全国でも有数の移民県として多くの移民を輩出してきた和歌山県だからこそ、その歴史を記録し伝えてゆくことが求められよう。

2009 年特別展「紀伊半島からカリフォルニアへの移民—サンピードロの日本人村」、2010 年企画展「虹の架け橋—和歌山からブラジルへの移住者たち」に続き、2011 年企画展「移民の仕事とくらし—アメリカ、カナダ、ブラジル、オーストラリア」を開催する。

和歌山から北米へ、カナダへ、オーストラリアへ、ブラジルへと世界各地に先人達が仕事を求めて海を渡っている。さまざまな遺物を通して移民の軌跡をたどり、当時の仕事やくらしの様子、先人達の苦労や努力、その息吹を今に伝えることができればと願う。

【問合せ先】
紀州経済史文化史研究所
 tel:073-457-7891
 http://www.wakayama-u.ac.jp/kisyuken/
 mailto:kishuken@center.wakayama-u.ac.jp

DESIGN M.K.